

「第5回 SB Student Ambassador ブロック大会 東海大会」に参加しました

11月9日（土）、サステナブル・ブランド国際会議さんによる「第5回 SB Student Ambassador ブロック大会 東海大会」に、国際理解コース2年生5名と1年生7名が参加しました。

本大会には東海4県26校の高校から約200名の生徒が参加していました。午前中は大学在学中に起業をされた株式会社 Stock Base の代表取締役、関 芳実様からの講演を聞き、午後のプレゼンテーションに向けてマインドセットしていきました。

午後のメイン活動であるプレゼンテーションには4つのテーマがあり、本校はそのうち3つ「皆さんの地域を題材に、地域の持続可能性をテーマとした同世代交流の企画を提案してください」「企業（人）がバックアップしてくれるとしたらあなたは地域で何ができるか考えてみよう！」「森を身近に感じられる音・音楽のサービス『こんなのあったらいいな！』」にそれぞれ4名が参加しました。午後の初めに各テーマに関する企業の方から講演をいただいたのち、発表準備に取り掛かりました。90分間で話し合い、発表用のポスター作製、原稿作成をこなすという大人でも難しい作業でしたが、どのチームも立派に発表していました。

大会の最後には各テーマから選ばれた優秀グループが全体に向けて発表をしてくれました。若者が今抱えている疑問を起点に、新しい視点からの解決策を提示してくれており、企業の方から新規性を評価されているグループもありました。残念ながら本校生徒が参加したグループは代表に選ばれませんでした。講演された方からのフィードバックをいただき、大変貴重な体験ができました。特に12月に全国高校生フォーラムをはじめとした諸大会に参加する2年生の5名にとっては、よい経験になりました。

この大会をきっかけに同世代の新たなつながりもできたようで、長い1日でしたが心地よい疲労感、達成感とともに終わることができました。

最後に、関様が講演及び最後の挨拶で語ってくださった高校生へのメッセージを掲載します。

「やりたいことってどうやって見つけるの？とよく聞かれます。私は最初から起業しようと思っていたわけではありません。でも、「どうして必要としている人がいるものが捨てられてしまうの？」という矛盾を見つけて、それを解消する方法として起業しました。みなさんも思いついたことは実行してみてください。実行に移せなければ、アイデアのまま終わってしまう。今は難しいことかもしれませんが、役に立たないと思うかもしれませんが、いつか使えることもあります。「あれがやりたい！」と周りに話していると、案外助けてもらえます。まずは皆さんの視点で矛盾を見つけて、実行してください。応援しています」
(柴田)



大会後の集合写真



午後のプレゼンテーションの様子